

Recherche 22805 フランボワーズカットソー仕様書

ニット用

パターンパーツ数 8

～付属品～

伸び止めテープもしくは接着芯(ウーリースピンテープ)

平ゴム(6～8 コールゴム)

サイズ	80	90	100	110	120	130	140	150
身丈	40.6	43.6	47.6	50.6	53.6	56.6	59.6	63.6
肩巾	18	19	20	21.5	23	25	28	31
身巾	23.4	24.9	26.9	28.9	30.9	32.9	35.4	37.9
袖丈 ※	36.8	39.8	43.8	47.8	50.8	53.8	56.8	60.8
袖口丈	8	8.5	9	9.5	10	11	12	13
用尺	110 巾	90	95	100	105	120	140	155
	150 巾	80	80	85	90	95	105	120

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ 二本針四本糸ロックミシン使用を想定しています。それ以外の場合は着用し辛くなったり、糸切れの原因になりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

----- 準備 -----

裁断

地の目線を確認し、生地の方角や伸びに注意しながら裁断します。

ノッチ(合印)を入れます

※ノッチとは、縫い代に 0.2~0.3 cmほどの切り込みを入れることです。

※ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。(素材によってはチャコや切りつけをします。)

※各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

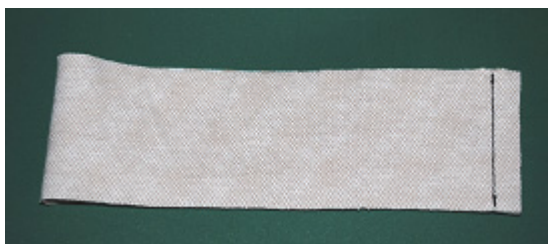
伸び止めテープ(接着芯)を貼ります(※本仕様書では省略しています。)

「後身頃の SL」に伸び止めテープもしくは接着芯を貼ります。

----- 作り方 -----

SL

「前身頃の SL」と「後身頃の SL」を中表に重ね、5 mm切り落としながら 5 mm巾ロックをかけます。

衿 ※タートル衿の場合は下へ

CBを中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代を割り、表に反し、半分に折ります。



タートル衿

ギャザーを寄せる場合はゴムをたたきます。(ギャザーを寄せない場合は省略)

ゴムたたきつけギャザー参照 <http://www.recherche.ne.jp/g.pdf>

P.3 の衿同様、CB を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

縫い代を割り、表に反し、半分に折ります。

衿付け



「衿」もしくは「タートル衿」と「身頃」を中表に重ね、クリップで留めます。



5 mm切り落としながら 5 mm巾ロックで縫い合わせます。

※SLの縫い代は後身頃側に倒します。



袖～身頃

※袖口パーツ・ギャザーの有無によって手順が変わりますのでご注意ください。

袖口パーツを使わない場合



袖口の縫い代を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾の空ロックをかけます。



袖口にギャザーを寄せる場合は、先に袖山側のみゴムをたたきます。

※ゴムたたきつけギャザーを参照
<http://www.recherche.ne.jp/g.pdf>



「袖～身頃」を中表に重ね、クリップで留め、5 mm 切り落としながら 5 mm 巾ロックで縫い合わせます。



※AHの縫い代は身頃側に倒します。



袖口にギャザーを寄せる場合は、袖底側にもゴムをたたきます。

※ゴムたたきつけギャザー(接ぎ線上)参照
<http://www.recherche.ne.jp/g.pdf>



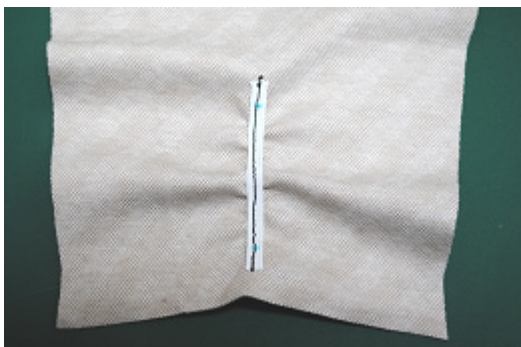
袖口を出来上がり線で折り、ステッチをかけます。



身頃脇にギャザーを寄せる場合は、袖底側ギャザーと同様に、ゴムをたたきます。

※ゴムたたきつけギャザー(接ぎ線上)参照 <http://www.recherche.ne.jp/g.pdf>

袖口パーツを使う場合



ギャザーを寄せる場合は、先に袖山側のみゴムをたたきます。

※ゴムたたきつけギャザー参照
<http://www.recherche.ne.jp/g.pdf>



袖口パーツ指穴をパイピング始末します。



袖底側の縫い代同士を**中表**に重ねます。



出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代を割り、表に反します。



「袖～身頃」を中表に重ね、クリップで留め、5 mm切り落としながら5 mm巾ロックをかけます。



※AHの縫い代は身頃側に倒します。

袖口にギャザーを寄せる場合は、袖底側にもゴムをたたきます。

※ゴムたたきつけギャザー(接ぎ線上)参照 <http://www.recherche.ne.jp/g.pdf>

身頃脇にギャザーを寄せる場合は、同様に、ゴムをたたきます。



「袖」と「袖口」を中表に重ね、指穴根元の縫い代を仮留めします。



前後を間違えないように注意します。

※指穴は前側



5 mm切り落としながら5 mm巾ロックで縫い合わせます。

裾

裾パーツを使わない場合

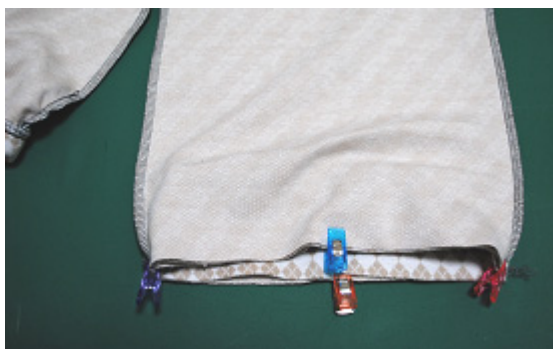
「裾」の縫い代を3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックをかけます。
出来上がり線で折り、ステッチをかけます。

裾パーツを使う場合



「裾の左脇」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

表に反し、半分に折ります。



「身頃」と「裾」を中表に重ね、クリップで留めます。



5 mm切り落としながら5 mm巾ロックで縫い合わせます。

※身頃の縫い代は後身頃側に倒します。

-----完成-----